

CASBEE神戸ver.2

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.2

(使用評価ソフト: CASBEE神戸ver.2 / CASBEE-BD_NC_2014(3.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	須磨消防署新築工事	階数	地上5F
建設地	神戸市須磨区中島町1丁目1番1	構造	S造
用途地域	第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	72人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2017年3月29日
敷地面積	2,673 m ²	作成者	神戸市住宅都市局建築技術部建築課
建築面積	952 m ²	確認日	
延床面積	3,085 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.9

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 4.0

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 CASBEE神戸の重要項目		
バリアフリー計画 Q-2/1.1.3 バリアフリー計画 4.0	建築物の耐震性等 Q-2/2.1 耐震・免震 5.0 Q-2/2.4 信頼性 4.4	まちなみ・景観への配慮 Q-3/2. まちなみ・景観への配慮 4.0
配慮の概要 バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準を満たしている。EVの設置や、段差を最小限に抑えている。	配慮の概要 免震構造の採用。	配慮の概要 敷地の外周部や道路側に緑地を設け、地域景観に配慮した。
その他の配慮事項		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される